



2020-2021年度R.I.テーマ
ロータリーは機会の扉を開く

吐きかかへ
して現れる。語れ！今こそスーダ



2020-2021年度 宇多村海見会長

第2840回 例会
2020. 8. 27

会長あいさつ

週報 No.2145
発行 2020年 9月 3日

2020-2021年度
会長 宇多村海見
幹事 深澤 圭司
副会長 齋藤 修弘
副幹事 長沼 大策
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 坂 佳三

ビジター
大宮RC 青少年奉仕委員会
委員長 福島 謙二様

行事予定

- 9月10日 会員卓話
「コロナ禍を生きる」
藤村作会員
- 9月17日 部門セミナー報告②
ロータリー財団/
奉仕プロジェクト3部門
- 9月24日 米山記念奨学生卓話
修 針叶さん

皆さま、こんばんは。本日も蒸し暑い中、お越しいただきありがとうございます。また大宮RCから福島謙二青少年奉仕委員長、お越しいただきありがとうございます。

本日は親睦家族例会で、趣向を変えて卓話を盛り込んでいます。スーダーイツの主宰者にしてAGETAKEの立役者、全国に名を馳せるほどの勢いがある、須田悦正直前会長におおいに卓話を披露していただきたいと思ひます。壇上の横断幕は久保田会員選考委員長に作っていただき、スローガンに『職業奉仕の精神は、須田悦正の姿をして現れる。語れ！今こそスーダーイツを！AGETAKEを！奉仕の心を！』と記載しました。須田直前会長の活躍を見ますと躍動感をもって行動してこられたのだと思ひます。そこを余すところなくお聞かせいただければと思ひます。短いですが本日の会長あいさつとさせていただきます。今夜はお楽しみいただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

幹事報告

深澤 圭司幹事

◇WHOが8月25日に、アフリカに於けるポリオを根絶したと宣言しました。残るはアフガニスタンとパキスタンのみとなっています。
◇本日、会長幹事と齋藤SAAの3名で、上尾高校のインターアクト同好会の顧問が変わったということでごあいさつにお訪ねしました。会員は3名いるということで、今後、協働できる事業を模索していこうと思ひます。
◇次週9月3日の例会はセミナー報告です。担当者はご出席をお願いいたします。



吐きかかへして現れる。語れ！今こそスーダ

ビジターあいさつ

大宮RC 青少年奉仕委員会 委員長 福島謙二様

皆さま、こんばんは。大宮RCから参りました福島謙二と申します。宇多村会長・深澤幹事とは20年来の友人で、同級生でもあり、飲み仲間でもあります。先日お二人から「このような夜間例会は一生に一度だけだ」ということで厳命を受け、コロナ禍の中、ご迷惑かなと思ひましたが、本日よりこした次第です。実は私も、上尾在住45年間、富士見小、西中に通った元上尾市民でも、もしかしたら上尾RCさんに入会させていただいてたかもしれません。いざさか大袈裟ですが故郷に帰ったような特別な思ひをもってこの場に立っています。今宵は私にとって、母なる大地＝上尾に於きまして上尾RCの皆さまとともに夜間例会を思う存分楽しみたいと思ひます。本日はよろしくお願ひいたします。



須田悦正直前会長

皆さま、こんばんは。このような場に私が立っているのかわかりません。たまたま運よくテレビ局などメディアが取材に来ました。まずは動画をご覧ください。

〈動画視聴〉

もともと奉仕というか、なぜスーダーイツを始めたかという、うちのお客さん(飲食店)の売上がほとんどないことを聞いていたんです。そこでなにか出来ないかなと考へ、人のために働く、そのために何かできるということが私自身うれしく思ひます。人が喜んでくれる姿を見るのが楽しくて仕事をしているんだと思ひます。飲食店さんが2か月、売上が90%減で、自分に置き換えたらどんな気持ちだろうと思ひた時に、手伝えることを考へました。そしてテイクアウトを始めたお店に宅配を提案し、スーダーイツというネーミングで、ギャグで始めました。取引のある飲食店の3～5店舗くらいは宅配をすればいいかなと考へていましたが、このままだと、コロナで街の活力が失われてしまうと感じ、取引先とは限らずどんな飲食店の宅配も引き受けようとなり、宅配代行の店舗が増えています。

AGETAKEというのはスーダーイツが元で、上尾の飲食店がテイクアウトをしていることを広めたい、街を盛り上げたいということ、恵比寿若社の若社長から相談され、月曜に相談されてその週末、土曜日に第1回目を開催していました。なにも宣伝していないので最初は不安でしたが、オープンから20分で300食が完売しました。販売している中、お客さんみんなが飲食店を応援している善意を肌で感じました。
先日、テレビ埼玉に出演した際、スタジオトークの中でロータリーの四つのテストの1つ、「みんなのためになるかどうか」とコメントしました。奉仕は無償・有償問わず、みんなのためになっているからこそ、今回、いろいろなメ

例会主題～親睦家族例会

職業奉仕の精神は、須田悦正の姿をして現れる。語れ！今こそスーダーイツを！AGETAKEを！奉仕の心を！

親睦活動委員会 坂本忠光委員長

皆さま、こんばんは。本日は『職業奉仕の精神は、須田悦正の姿をして現れる。語れ！今こそスーダーイツを！AGETAKEを！奉仕の心を！』という主題に則り、親睦家族例会を始めさせていただきます。第1部が卓話、第2部は演者さんと呼んでアトラクションとなっています。どうぞよろしくお願ひいたします。

吐きかかへして現れる。語れ！今こそスーダ



乾杯のご発声 樋口雅之直前会長

ディアで採り上げていただけたのかなと思ひます。それと、みんなから感謝されると逆に、批判や懐疑的な声もありましたが、人のためになつていけば、そのような批判には動じることがありませんでした。今回、いろいろな人と出逢い、ロータリーの四つのテスト、みんなのためになるかどうか、というのが自分の心に、ロータリーに入会してその精神を学んだからこそ、スーダーイツやAGETAKEができたのではないかと、今だからこそロータリーのお蔭かなと思ひます。

会長年度にたくさんのメディアに採り上げてもらい、ロータリーは善意あふれるいい会だと思ひました。皆さんに感謝いたします。

最後に、息子から「尊敬する」と言われたのが嬉しかったです。以上です。ありがとうございます。

第2部 アトラクション 我武者羅応援團

上尾RCに本気の応援・エールを送っていただきました。



齋藤哲雄SAAがエールをお返ししました。

花束贈呈



須田悦正直前会長

コロナ禍ですが、生きて、命あって、こうして誰一人欠けることなく、上尾RCが次年度に移ったことが嬉しいです。皆さんと元気にロータリーライフを楽しんでいきたいなと思ひます。本当に一年間ありがとうございます。

齋藤修弘副会長(直前幹事)

花束、ありがとうございます。一年間、須田直前会長の女房役として幹事を務めさせていただき、本当にラッキーだったと思ひます。コロナで数か月休会になりましたが、上尾RCのひな壇にあがるだけでも私には恐れ多いところでしたが、本来でしたら緊張し身が引き締まる立場を、楽しみながら学ばせていただきました。行き届かないところもあったかと思ひますが、一年間、ありがとうございます。

大塚信郎バストガバナー

今日の例会はたいへん楽しかったです。須田直前会長のバイトリティは素晴らしい、これを上尾RCのモットーとして続けていけたらなあと思ひます。私たちは奉仕することが目的ですから楽しく奉仕していきましょう。今後ともロータリーを楽しみましょう。ありがとうございます。



吐きかかへして現れる。語れ！今こそスーダ

スマイル

須田直前会長、齋藤修弘副会長、1年間お疲れ様でした！

ありがとうございました！

福島謙二様(大宮RC)：上尾RCの皆様、本日は宜しくお願ひします。宇多村海見会長：須田直前会長、ありがとうございます。

お体お大事に、これからもご活躍をお祈りしています。

齋藤博重会員：坂本親睦活動委員長、ご苦労様です。

樋口雅之会員：須田直前会長、今や全国区ですね！

卓話ありがとうございます！！

深澤幹事/齋藤修弘副会長/長沼副幹事
村岡会員/尾花会員/大木保司会員/名取会員/大塚崇行会員/
藤村会員/齋藤哲雄会員/坂本会員/小田切会員/関口良康会員

出席率	
会員数	36
出席数	24
欠席数	12
	66.67%

『広報あげお9月号』に須田直前会長が掲載されました。



多くの来場者でにぎわう [AGETAKE2020]

広がれ 善意の輪

「スーダーイツ」×「AGETAKE」で上尾を盛り上げる

「困っている人がいたら助けたい。当たり前の取り組みを形にしたらこうなったと話すのはスーダーイツやAGETAKEの主催者で、お米やお酒を販売する明治創業の須田商店の専務、須田悦正さんです。須田さんは毎年目標に目標を立てるのですが、ここの目標は「動く」。その目標のとおり、ここの須田さんは新型コロナウィルスに負けない企画の設立や運営に動き回っています。「スーダーイツ」は新型コロナウィルスの影響で、売上げが落ち込んでいた飲食店のために何かできないかと始めた無料宅配代行を行うサービスで、現在、市内・外の66店舗を対象に宅配を行っています。「AGETAKE」とはスーダーイツでできた縁から企画したテイックアウトイベントで、5月16日に5店舗からスタートしました。その後は回を重ねるごとに規模が大きくなり、7月26日に上尾公園で開催された「AGETAKE 2020」は、27店舗が参加し、来場者約2千人にもなる大イベントとなりました。いずれも、「困っている人がいれば助けたい」「上尾市を盛り上げたい」という思いが、きっかけをうけて、「何かをやれば、さまざまな問題も出てくるけれど、困っている人がいれば助けたい」と、当たり前の事。できない理由を考へるより、まず動く。動きながら考へると力強く話す須田さん。最近では、須田さんの取り組みによって「上尾市にこんなにおいしいお店があると知れて良かった」といった声を聞いたり、この取り組みに共感した人たちがマスクや消毒液の寄附をいただいたり、ステッカーを作っていたりするなど、さらなる善意の輪の広がりを見せています。「1人でも必要としている人がいれば、今の取り組みを続けていく意義がある。これからも善意の輪の潤滑油である。いけば、新型コロナウィルスに負けない元気な上尾になっていく」と笑顔で語る須田さんの目は希望に満ちていました。

須田 悦正 さん (南在任)

「Let's do a great person」